

HDMI 信号分配機

ROOTY HD SP4

HDMI SPLITTER UNIT

取扱説明書

この度は、「ROOTY HD SP4」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品を安全にご使用いただくため、本機をご使用になる前に、本書をよくお読みください。

本書の3～11ページには本機をご使用いただくための、最低限守らなければならない事項が書かれていますので必ずお読みください。

とりあえず接続したいお客様へ

すぐに接続したいというお客様は、18～21ページをご覧ください。正しい接続手順を確認できます。

| | ページ |
|---|-------|
| もくじ | 2 |
| 使用上のご注意と警告・禁止事項(重要) | 3~7 |
| 正しい設置方法 | 7 |
| その他ご注意いただきたいこと | 8 |
| 業務や設備で使用される方へ | 9 |
| 保証に関して | 10 |
| 保守期間とお問い合わせに関して | 11 |
| はじめに | 12 |
| 同梱品一覧 | 12 |
| 接続に必要な物 | 13 |
| 本機に接続できる機器と接続できない機器 | 14~15 |
| ・本機の入力端子に接続可能な機器の例 | 14 |
| ・本機の出力端子に接続可能な機器の例 | 14 |
| ・本機に接続できない、動作を保証できない機器の例 | 15 |
| ROOTY HD SP4の各部名称と解説 | 16~17 |
| 各機器との接続 | 18~20 |
| ・接続の前に確認しましょう | 18 |
| ・接続手順 | 19~20 |
| 画面が表示されない、音が出ないとき | 21 |
| ご使用いただけるケーブルの長さ | 21 |
| ROOTY HD SP4を接続した際の制限事項 | 22~23 |
| ・最大解像度の異なるテレビなどを複数接続した場合の動作 | 22 |
| ・DVI端子やDisplayPort端子を持つ映像機器やパソコン、及び表示装置との接続に関して | 22 |
| ・HDMIケーブル接続時にご注意頂きたいこと | 23 |
| ・HDMIケーブル接続時の相性による不具合について | 23 |
| ・CEC機能に関して | 23 |
| 仕様 | 24 |
| トラブルとQ & A | 26~31 |

使用上のご注意と警告・禁止事項(重要)

本機は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。下記に記されている「本機」とは、製品本体、ACアダプター等を含む製品のことで。

<警告：煙が出たら！>

使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがするときは、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社ユーザー・サポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となります。

<注意：使わないときは取り外す>

本機をご使用にならないときは、本機のACアダプターをACコンセントから取り外してください。製品には万全を期しておりますが、安全を考慮し、使用しないときは本機のACアダプターをACコンセントから取り外すことをおすすめします。また、本機のACアダプターは本体が接続されていなくても、ACコンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しないときはACアダプターを取り外した方が安全で電気代も節約できます。

<注意：お子様に注意>

本機をお子様のおられる場所で使用したり、設置しないでください。また、お子様の触れない場所に本機(付属品を含む)を保管してください。特に、電源ケーブルの取り扱いには十分お気をつけください。小さなお子様がおられる場所では特に注意が必要です。

<注意：本体や AC アダプターを振ると大きな音がする時>

製品には万全を期しておりますが、本体や AC アダプターを振って、部品が外れているような大きな音がする場合は、すぐに使用を中止し弊社へご連絡ください。

<禁止：ぬれた手でさわらない>

本機をぬれた手でさわらないでください。ぬれた手でさわると、感電の恐れがあり、たいへん危険です。

<禁止：家具や暖房器具などに注意>

本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。また、ストーブやエアコンなどの発熱する機器の側で設置・使用しないでください。

<注意：設置環境に注意>

本機の上や下に布を置いたり、テレビの上や AV ラックの中に設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。本機は発熱しやすい機器ですので、設置状態や設置場所には注意が必要です。

<注意：発熱注意>

本機を長時間使用すると、本体や AC アダプターが高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。

<禁止：分解・改造禁止>

分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造後の保証・修理はいたしません。分解・改造によって人体に甚大な被害を被ったり、怪我・感電・発火に至ることがあります。

<禁止：直射日光>

本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。製品寿命の低下、動作不良、ケースが変形・変色するなどの症状が発生する恐れがあります。

<禁止：衝撃禁止>

本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはいしないでください。AC アダプターなど付属品も同様です。

<禁止：屋外設置は禁止>

本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。

<注意：ホコリ・油煙・火山性ガス・塵・塩分は注意>

本機を、ホコリの多い場所や油煙のある場所では使用しないでください。故障や漏電、発火の恐れがあります。本機を、火山のある地域や温泉地域で使用されると、火山性のガスや塵の影響で、部品が腐食し、製品が故障することがあります。また、海の近くなどで、塩分の含まれる空気に接すると部品が腐食し、製品が故障することがあります。

<禁止：異物挿入禁止>

本機の穴などから、異物を入れないでください。また、間違っって異物が入ってしまった場合は弊社へお問い合わせください。

<注意：雷注意>

雷が光り出したら、ACアダプターをコンセントから取り外してください。

雷の電気が、電源コンセントを伝って、本機に流れ込むことがあり、感電の恐れがあります。尚、本機の操作中またはACアダプターの脱着中に、天災(例えば落雷)によって受けた損害・被害は弊社では保証いたしません。

<禁止：ケーブルを持って引っ張らない>

ケーブルを取り外すときなどに、コードを引っ張らないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず本体を手でしっかり固定し、ケーブルのコネクタ部(樹脂部)を持って行ってください。

※端子の金属部分には電気や信号が流れており、感電する恐れがあるため触らないでください。

<禁止：水場で使用禁止>

本機を、水を多く使う場所(お風呂や洗面所、キッチンなど)では絶対にご使用にならないでください。

本機に水がかかったり、製品内部に水が侵入すると、漏電、感電、火災、故障の原因となります。本機は防水処理されておりません。

<禁止：AC100V 以外は禁止>

本機は専用のACアダプターをAC100V(50/60Hz)の電源コンセントに接続して使用します。AC100V以外の電源コンセントには絶対に接続しないでください。AC100V以外の地域(日本以外の地域)で使用する可能性がある場合は注意が必要です。

<注意：ケーブル接続時は電源オフまたはスタンバイ>

ケーブルの脱着は、必ず接続している全ての機器の電源を「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」の状態で行ってください。接続している機器の電源が「オン」のときにケーブルなどを脱着すると画面が映らなくなることがあるだけでなく、ショートなどをおこし、各機器が故障する恐れがあります。

<注意：結露に注意>

本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むなど、急激な温度変化により、部品や本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。

水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、漏電、火災の原因となります。結露した場合は、一定時間経過してから使用してください。

<注意：ペットに注意>

ペット(動物)の居る部屋では設置・使用しない、もしくはペットの触れることのできない場所に設置してください。

ペットがケーブルをかじるなどして傷を付けたり、糞尿が製品にかかると、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。

正しい設置方法

- 本機は地面に対して水平に設置してください。



その他ご注意いただきたいこと

- 同梱の AC アダプターは ROOTY HD SP4 専用です。他の機器でご利用にならないでください。
- アロランプ等アロマ関連の装置を本体や AC アダプターの近くで使用しないでください。アロランプの成分が本体内部や AC アダプター内部に蓄積(付着)し、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 本機を本来の目的意外の用途に使用しないでください。
- 車載でご利用いただいた場合は保証外とさせていただきます。
- 本機や各機器を取り扱う際(特にケーブルの抜き差し時)は、体にたまっている静電気(電気)を取り除いてください。静電気は本機だけでなく接続する全ての機器の故障の原因となります。
- 長時間映像を表示し続けると、テレビやディスプレイ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しないときは、テレビやディスプレイの電源を「オフ(切)」にするか、本機の電源をオフすることをおすすめします。プロジェクション方式のテレビやディスプレイでは、焼き付きが起こりやすいので特にご注意ください。

業務や設備で使用される方へ

- 本機は、業務用途での使用(例えば数年間電源を切らずに連続使用するなど)を前提として設計されておりませんので、製品寿命や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。このため、他機器(産業用機器や製造装置など)へ組み込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの安易な導入はお薦めできません。やむを得ず本機を使用しなければならないときは、保守可能な期間をご理解いただいた上、「故障時や生産終了時の代替機材を各自で事前に準備しておく」、など十分考慮の上でご検討ください。尚、本機が故障した場合に発生した二次的な損害に関しては、弊社では保証できません。また、本機が故障した際、修理中の代替機などはご用意しておりません。
- 本機は一般的なオフィス(工事現場や倉庫などではない)や家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本機を、通気性、ホコリ、安全面、メンテナンス等の問題から屋根裏や床下等手の届かない場所に設置することはお勧めできません。

保証に関して

- 本機の保証期間は、保証規定に従いお買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。
- 本機を日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に關しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です(This warranty is valid only in japan.)。
- 保証規定は「保証書」をご覧ください。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に關しても、弊社は一切責任を負いません。

保守期間とお問い合わせに関して

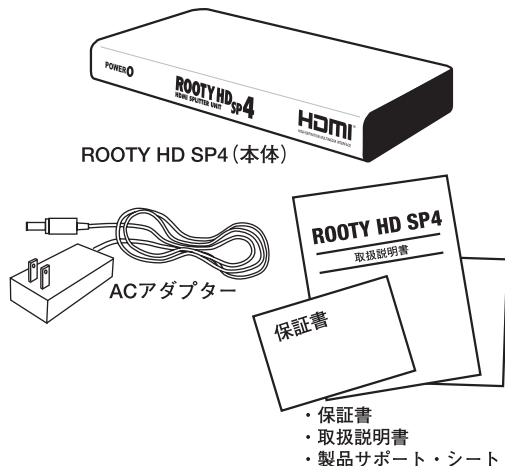
- 本機のサポート期間は、生産完了後3年間とさせていただきます。それ以降は、部品などの供給の問題から修理できない事があります。なお、代替部品で修理が可能な場合は、修理いたしますので、故障した際は、まず弊社へお問い合わせください。
- 本機の仕様や概観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機を生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。
- 取扱説明書をご覧になっても本機が正常に動作しないときや、操作がよく分からないとき、本書をご覧になっても解決できない問題は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- 本機を長期間ご利用になって、画面が乱れがちになってきたり、お客様側で故障の可能性があると判断したときは、できるだけ早く本機のご使用を中止していただき、弊社へご相談ください。故障したままご使用になりますと、故障箇所が各部に広がってしまうことがあり、最悪の場合、製品を修理できなくなる恐れがあります。

はじめに

この度は「ROOTY HD SP4(本機)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、「ROOTY HD SP4(本機)」を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、本機をご使用になる前によくお読みください。

同梱品一覧

本パッケージには、以下の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。



接続に必要な物

<接続ケーブルを別途ご購入ください>

本製品には各機器を接続するためのHDMIケーブルは付属していません。

HDMIケーブルは、電気店や家電量販店のAVアクセサリ・コーナーにて買い求めください。尚、ご利用いただくケーブルは、HDMI Ver.1.3以降のHDMI認証に合格した製品(High Speed HDMIケーブル[カテゴリ-2])をご利用ください。特に接続されている機器がHDMI Ver.1.3対応の機器の場合は、HDMI Ver.1.2対応のHDMIケーブル(Standard HDMIケーブル)を使用すると、信号を正しく視聴できなかつたり各機能が正しく働かないことがあります。

本機に接続できる機器と接続できない機器

本機の入力端子に接続可能な機器の例

本機には図1のHDMI出力端子を持つ下記の機器を接続することができます。

- ビデオレコーダー (HDD/DVD/Blu-ray レコーダー)
- ビデオディスク・プレイヤー (DVD/Blu-ray プレイヤー)
- 家庭用ゲーム機
- 地デジ/BS/CS デジタル・チューナー
- デジタルムービー・カメラ
(HDD/DVD/Blu-ray ビデオムービー・カメラ)
- デジタル・カメラ
- パソコン



図1：HDMI 端子

本機の出力端子に接続可能な機器の例

本機には図1のHDMI入力端子を持つ下記の機器を接続することができます。

- テレビやプロジェクター、ディスプレイ
- AV アンプやホームシアターシステム

参考：出力側に接続可能な機器は、入力側の機器の映像や音声を直接HDMIケーブルで接続して視聴可能な機器に限ります。

本機に接続できない、動作を保証できない機器の例

左記に書かれていない機器や、下記の機器は接続できない、もしくは動作保証をいたしかねます。

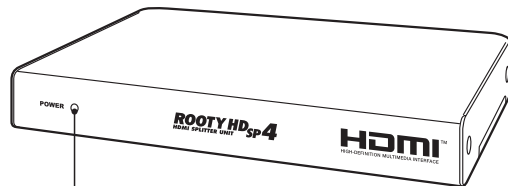
- HDMI 端子を持たない機器
- DVI端子やDisplayPort端子の機器を変換ケーブルなどで接続した場合

参考：HDMI端子のみの信号セレクター(AVアンプではない切替器)に関しては、完全な動作を保証できない場合があります。

ROOTY HD SP4 の各部名称と解説

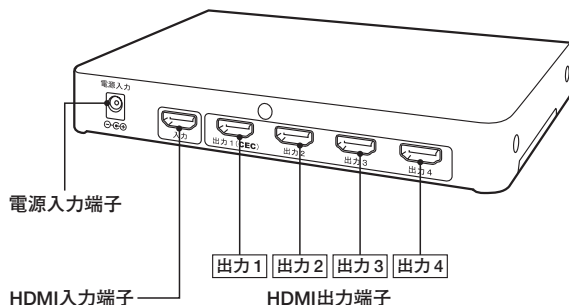
ROOTY HD SP4の各部名称と機能は下記の様になっています。ご確認いただき、ケーブルの接続や操作などを正しく行ってください。

■本体前面



電源ランプ

■本体後面



電源入力端子

HDMI入力端子

HDMI出力端子

電源ランプ(POWER)

本機にACアダプターが接続されて通电しているときに点灯します。このランプが点灯しているときは、ROOTY HD SP4の電源が「オン(入)」になっています。

電源入力端子

同梱のACアダプターを接続して電源を入力する端子です。接続には必ず、同梱のACアダプターをご使用ください。

HDMI入力端子(入力)

HDMI出力端子を持った機器をHDMIケーブルで接続する端子です。HDMI規格のデジタル映像と、デジタル音声を入力することができます。

この端子に接続できる機器は1台のみです。

HDMI出力端子(出力1～出力4)

HDMI入力端子を持った機器(テレビやプロジェクターなど)をHDMIケーブルで接続する端子です。HDMI規格のデジタル映像と、デジタル音声を出力することができます。接続できる機器は最大4台です。

出力1はCEC機能のパススルーに対応しています。

各機器との接続

ここでは、ROOTY HD SP4をご利用になるための、接続手順を解説いたします。19～20ページの手順を参考にして、映像機器や、本機、表示装置などの接続を行ってください。

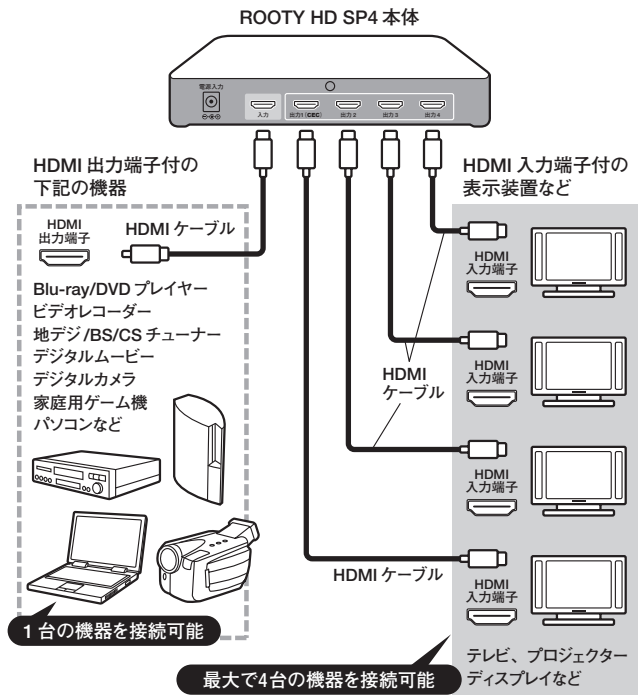
<接続の前に確認しましょう>

本機を接続される前に、HDMI信号を出力する機器と、HDMI信号を入力する機器(テレビなどの表示装置)を直接接続して映像が表示可能であることをご確認ください。

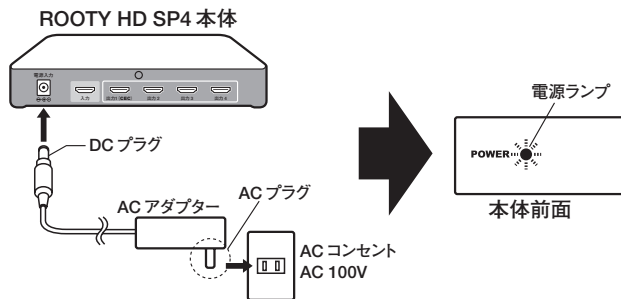
- HDMI信号を出力する機器の中には、出荷時の状態でHDMI信号の出力が「オフ(切)」になっていることがあり、映像や音声が出されることがあります。本機を接続する前に、HDMI信号の出力(映像と音声)を「オン(入)」に設定してください。また、同様にCEC機能を使用する場合にも設定を確認してください。
- 現在ROOTY HD SP4の電源が「オン(入)」になっているときは、ROOTY HD SP4からACアダプターを取り外してください。また、これから接続する機器の電源は「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」にしてください。

■接続手順

- ① 市販のHDMIケーブルを使用して、HDMI出力端子を持つ機器を、本機の「入力」に接続します。
- ② 市販のHDMIケーブルを使用して、HDMI入力端子を持つ機器(表示装置など)を、本機の「出力1～4」に接続します。高、CEC機能を使用したい機器は必ず「出力1」に接続してください。



- ③ ACアダプターを本体の「電源入力端子」と「ACコンセント」に接続し、本機の電源を「オン(入)」にします。
本体前面の「電源ランプ(POWER)」が点灯します。



- ④ 「出力1～4」に接続されている機器(テレビなど)の電源を「オン(入)」にします。
「出力1～4」に接続されている機器(テレビなど)の入力チャンネルがHDMIケーブルで接続されている端子のチャンネル「HDMI(など)」に設定されていることを確認してください。
- ⑤ 本機の「入力」に接続されている機器の電源を「オン(入)」にしてください。

「入力」に接続した機器の映像が出力され、画面に正しく表示されたことを確認してください。接続した機器が正常に動作していれば、出力側の機器に映像が表示され、音声も出力されます。

画面が表示されない、音声が出ないとき

画面に何も表示されない場合や、音声が出ない場合は、一旦本機のACアダプターをACコンセントから取り外し、もう一度接続などを確認してください。ケーブル接続の際、入力と出力の端子を間違えやすいので、接続は念入りにご確認ください。

ご使用いただけるケーブルの長さ

本機の接続に使用するHDMIケーブル(市販品)は、HDMI認証試験に合格した製品であれば、原則何メートルの製品でもご利用いただけます。

HDMI認証試験に合格したケーブルには、パッケージや製品のプラグ部分にHDMI Licensing LLC 指定のロゴが表記されています。

ROOTY HD SP4 を接続した際の制限事項

(知っておきたいこと)

ROOTY HD SP4やパソコンをご利用いただく上で、仕様上下記の制限がありますのでご了解ください。

■最大解像度の異なるテレビなどを複数接続した場合の動作

本機に最大解像度の異なるテレビなどが複数接続されている環境では(例えば「テレビ A = 720p 対応のテレビ」と「テレビ B = 1080p 対応のテレビ」が接続されている場合)、本機の入力側に接続されている機器の解像度設定が「自動認識」の場合、解像度の低い方のテレビ(テレビ A)に解像度を合わせて映像を出力します。この場合、解像度の高い「テレビ B」は「テレビ A」と同じ解像度(例えば720p)で表示されません。

■DVI端子やDisplayPort端子を持つ映像機器やパソコン、及び表示装置との接続に関して

パソコンなどのDVI端子やDisplayPortの映像信号は、変換ケーブルや変換アダプターを使用してHDMI端子に変換しても、HDMIの信号と全く同じ規格の映像信号ではないことがあります。このため、端子を変換して本機に信号を入力しても正しく表示できないことがあります。本機に、DVI端子やDisplayPort端子からの映像信号を入力した際の完全な動作、及び本機からの映像出力をDVI端子やDisplayPort端子付きのディスプレイなどに、変換ケーブルや変換アダプターを使用して接続した際の動作保証はいたしておりません。

■HDMIケーブル接続時にご注意頂きたいこと

HDMIケーブルで機器を接続しているときは、各機器が「電源オン(入)」の時にケーブルを挿抜しないでください。もし、各機器が「電源オン(入)」の状態でケーブルを挿抜してしまった場合は、映像が正しく表示されないことがあります。この様なときは、本機や接続している機器の電源を一旦再起動する必要があります。HDMIにはホットプラグという機構が内蔵されており、通常は問題なく動作し、安全性にも問題はありますが、機器の組み合わせによっては、正しく機能しないことがあります。ケーブルの挿抜は各機器の「電源をオフ(切)」にしてから行うことを推奨します。

■HDMIケーブル接続時の相性による不具合について

HDMI という規格は、HDMI Licensing LLC という団体の規格であり、本来どの様な機器でも互換性が保たれるべきですが、HDMI端子を持つ機器でもHDMIコンプライアンステスト(HDMI認証)を受けていない物や、各メーカーが独自に動作を保証する製品では、完全な動作を保証できないことがあります。また、機器によっては著作権対策のため分配器に対応していない映像機器があります。尚、伝送品質の悪いケーブルを使用すると映像や音声を正しく分配できないことがあります。

■CEC機能に関して

CEC機能とは、HDMIケーブルの通信を利用して、各機器同士での制御や情報のやりとりなどを行う機能のことです。代表的な機能としては、テレビのリモコンなどからHDMIケーブル経由でビデオレコーダーなどを制御するリンク機能があります。

本機では、「出力1」のみCECのパススルーに対応しています。

CEC機能は同じメーカー同士のCEC機能対応機器でのみ動作を保証することが可能です。

仕様

| | |
|------|--|
| 入力 | 19ピン・HDMI端子 (Type A) 端子数：1系統 (HDMI Ver.1.3対応) 対応最大解像度：1920×1080ドット・ノンインターレス 信号帯域幅225MHz TMDS方式 (シングルリンク) |
| 出力 | 19ピン・HDMI端子 (Type A) 端子数：4系統 (HDMI Ver.1.3対応) 対応最大解像度：1920×1080ドット・ノンインターレス 信号帯域幅225MHz TMDS方式 (シングルリンク) |
| 電源 | 専用ACアダプターにより供給 電圧：DC 12V、最大消費電流：1.5A 最大消費電力：18W |
| 本体寸法 | 横185mm×高さ25mm×奥行122.5mm (ボタン、コネクタ、ゴム足の凸部を除く) |
| 重量 | 本体：約530g ACアダプター：約143g ※重量は生産時期によって若干変わることがあります。 |

トラブルとQ & A

製品をご使用の際に問題が発生したときは、下記事項をご確認ください。

また、製品に不具合が発生したときは、販売店様へ交換・お問い合わせをされる前に、まず弊社へお問い合わせいただき、本当に製品が故障・不良であるかどうかを確認することをおすすめします。お電話や電子メールで解決する不具合もあります。電子メールによるお問い合わせは、弊社 Web ページにてお受けしております。

接続したが映像や音声が表示・出力されない。

- ・ ROOTY HD SP4 の入力側に接続している機器の設定で HDMI 端子からの信号出力が「オン(入)」になっていますか？
機器によっては HDMI 端子からの映像や音声の出力設定が初期設定で「オフ(切)」になっている事があります。
- ・ ROOTY HD SP4 や表示装置を起動(電源「オン」)する前に「入力」側の機器を起動(電源「オン」)していませんか？
本機の入力側に接続している機器を ROOTY HD SP4 や表示装置(テレビなど)より先に起動すると、機器が信号を出力しないことがあります。
- ・ ケーブルなどは正しく接続されていますか？もう一度ご確認ください。
- ・ ROOTY HD SP4 の電源ランプ(POWER)は点灯していますか？
- ・ 本機の入力端子に接続している機器の電源を再起動してみてください。
- ・ テレビなどの表示装置の入力チャンネルは「外部入力(HDMI)」に設定されていますか？

ROOTY HD SP4 を再起動したら映像や音声が出なくなった。

- ・ 接続されている機器が電源「オン(入)」のときに ROOTY HD SP4 の電源を「オフ(切)」にしたり、再起動しませんでしたか？
このような症状が発生したときは、ROOTY HD SP4 の電源が「オン(入)」の状態、本機の入力側に接続している機器の電源を再起動する必要があります。

入力した映像が正しく表示されない(画面の点滅やノイズが発生する)。

- ・ ケーブルの伝送品質の問題が考えられます。もし長いケーブルをご利用の場合は別のメーカーの短いケーブルに変更してみてください。

本体を振ると大きな音がするのですが。

本機を振って部品が外れているような音がする場合は、ただちに使用を中止し、弊社にご連絡ください。

HDMI 端子付きのパソコンの映像が正しく表示されない(画面の点滅やノイズが発生する)。

- ・ ご使用の表示装置(テレビやディスプレイ)に対応した映像出力(解像度など)を正しく設定されていますか？
- ・ パソコンの HDMI 端子に接続してご利用ですか？
もし、お客様が DVI-HDMI 変換ケーブルなどを利用して本機にパソコンを接続されている場合、正しく表示できないことがあります。原因は、DVI と HDMI の信号方式が全く同じではないことと、解像度がテレビやディスプレイに対応していないなど、様々な原因が考えられます。
本機には HDMI 端子付きの機器のみ接続可能です。

ROOTY HD SP4の電源が「オン(入)」の時、ケーブルを一旦取り外したら映像や音声が出なくなった。

機器が起動しているときにケーブルの挿抜や、ROOTY HD SP4の電源オフを行ってはいけません。

この様な操作を行って画面がおかしくなった時は、本機の入力側に接続されている映像機器等を再起動する必要があります。

本体がとても熱くなるのですが、大丈夫でしょうか？

本機には発熱する部品が多く使用されています、このため本体がとても熱くなることがあります。お取り扱い時にはご注意ください。また、本機はできるだけ風通しの良い場所に設置してください。絨毯やマットの上など熱のこもりやすい材質の上に設置しないでください。

DVI端子やDisplayPort端子を持つ機器(パソコン等)と接続すると映像を表示できない。

パソコン等から出力される、DVI端子やDisplayPort端子からの映像・音声を交換ケーブルや変換アダプターなどを使用して、ROOTY HD SP4に接続した場合、正しく分配できないことがあります。本機はDVI出力端子やDisplayPort出力端子からの映像・音声に対応していません。

DVI端子やDisplayPort端子を持つディスプレイやテレビと接続すると映像を表示できない。

ROOTY HD SP4から出力される映像や音声を、変換ケーブルや変換アダプターなどを使用してDVI端子やDisplayPort端子を持つディスプレイやテレビに接続した場合、信号を正しく分配できないことがあります。本機はDVI入力端子やDisplayPort入力端子を持つ表示装置には対応していません。

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要な事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。

保証規定にそって無料で検査・修理いたします(修理をご依頼の際は、本体、ACアダプター、保証書、製品サポート・シートなどの同梱品を必ずお送りください)。

ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。動作不良の症状や故障の状況に関しては、添付の「製品サポート・シート」に詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。尚、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

製品内容のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします

マイコンソフト株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号

京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

TEL 06-6203-2827

弊社 Web ページの「サポート・フォーム」からもお問い合わせ可能です。また、お問い合わせの多いご質問は、弊社 Web ページにて閲覧可能です。

弊社ホームページ URL <http://www.micomsoft.co.jp/>

修理ご依頼時の送付・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良の際の送料に關しましては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください(事前のご連絡無しに送料着払いで製品を発送されることはご遠慮ください)。尚、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。
- 本機は精密機器です。発送の際は、「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。尚、輸送中の事故や衝撃による破損に關しましては、弊社は責任を負いません。
- 修理をご依頼の際は、必ず、「本体」と「ACアダプター」、「保証書」を一緒にお送りください。本体のみの送付や、ACアダプターのみの送付では、症状を確認できません。また、お手数でも付属のサポート・シートをご利用頂くなどし、発生している症状や接続している機器(映像機器やテレビ等のメーカー名や型番)の詳細をご記入ください。

<個人情報保護法に関する記述>

保証書や製品サポート・シートに記入されたお客様の個人情報は、ご購入いただいた製品の保証・サポートに利用される物であり、それ以外の用途に利用されることはありません。尚、お客様の個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲内においてその取り扱いの全部または一部を第三者に委託することがあります。第三者に委託する場合には、お客様の個人情報の適切な管理が図られるよう、委託先に対して必要かつ適切な監督を行います。

<商標に関する記述>

- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- x.v.Color、x.v.Color ロゴはソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中では、TM、®マークは基本的に明記していません。



製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827

販売・流通に関するお問い合わせ先

株式会社 電波新聞社

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201 (販売部・ダイヤルイン)

マイコンソフト Web ページ URL

<http://www.micomsoft.co.jp/>